



春季企画展  
きらびやかな雛人形の世界

平成26年2月22日(土)~4月6日(日)

大磯町郷土資料館

開館時間：午前9時~午後5時

休館日：毎週月曜日

3月1日(土)

4月1日(火)

入館料：\*無料



# 雛祭りとお雛人形

雛祭りは上巳(じょうし)の節供(節句)、あるいは桃の節供ともいい、女児のすこやかな成長を願って雛人形が飾られます。雛祭りの起源はさまざまな説がありますが、すでに平安時代には「ひいな遊び」と称して人形を使ったままごとのような遊びをしていたことが知られています。これは、もともと中国で3月の巳の日に穢(けが)れを祓(はら)うために水辺で禊(みそぎ)をおこなっていた儀礼が伝えられたといわれ、わが身の穢れを人形に託して川などに流したのが始まりのようです。やがて、貴族階級の女児の「ひいな遊び」は徐々に庶民に浸透していきますが、桃の節供として一般に広く普及するのは江戸時代中期以降であるとされています。また、雛人形も古くは質素な紙雛や土人形でしたが、次第に豪華な人形が作られるようになり、段飾りも登場します。

郷土資料館では、江戸時代末期から昭和時代までに作られた雛人形を所蔵しています。その時々のからびやかな雛人形の世界をお楽しみください。

## 江戸



たび重なる大磯の大火や関東大震災からも生き延び、17代続く下町の旧家に残されていた人形。

## 明治



明治36年生まれの子の初節供に飾られた人形。雛道具すべてに家紋が入れられた豪華な段飾り。

## 大正



かつて東海道筋で旅館を営んでいた家に残されていた人形。手作りの着物に愛情が感じられる抱き人形。

## 昭和



昭和14年生まれの子の双子の女児のために、内裏雛を二組あつらえた「吉徳」製の特注品。

## 大磯町郷土資料館

■住所/  
〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1  
TEL.0463(61)4700 FAX.0463(61)4660

■交通/  
電車をご利用の方：JR 東海道線「大磯駅」から徒歩約30分  
バスをご利用の方：大磯駅から二宮駅行・国府津駅行・  
湘南大磯住宅行バスで「城山公園前」下車徒歩5分

